

ても未だ結實体は見られないが、いつも見事な群落を形成していて常時生育旺盛で枯渇する事はなく非常に興味ある場所と云えよう。

尙このタニコケモドキは種類としても生態的に興味ある種類であり、琉球以外の本邦内に於ては鹿児島縣に於ては枕崎市、(時田邨, 昭和14年3月), 口之永良部島の温泉壁上, 等に發見されているが、以前は宮崎縣油津町の鈴木旅館の井戸の中にも發見されたとの報告が残っているが、現在では殆んどここでは見當らない。(若山甲藏編, 日向地名録第一, たにこけもどき, 大正8年)。

2. 長大のオホオゴノリ

昭和23年6月25日, 鹿児島水産専門學校裏の海岸に打揚げていたと云う紐状の赤い海藻類を, 鹿児島市フノリ製造業者の江夏實右衛門氏が持参された事がある。調べて見るとオゴノリ屬のオホオゴノリ (*Gracilaria gigas*) であり, 体長實に11.76 mにも達し, しかも藻体の基部と先端とは途中で切れているから完全な体では恐らく14~15 mに達したであろうと思われた。日本海藻誌にもオホオゴノリでは長いもので5 m或は10 m位にも達する事があると記されているから珍しい事でないかも知れないが筆者はかかる長大な紅藻類は本邦で初めて見た事であり, 甚だ興味を感じた次第である。尙この藻体は徑3~4 mm位で, 軟骨質で小枝は少なく, 二次的の短小枝を存し, 點在した囊果を藏していた。(鹿児島大學水産學部)

新 著 紹 介

瀬 木 紀 男 著

日本産イトグサ屬の分類學的研究

T. SEGI: Systematic Study of the Genus *Polysiphonia* from Japan and its Vicinity. Journ. of the Faculty of Fisheries, Prefectural University of Mie, 1 (2): 169-272 Figs. 1-36, Pls. I-XVI.

本論文は緒言(2頁), 研究史概説(3頁), 分類上の形質の記述(8頁), 種の檢索表(2頁), 種の記載(87頁), 索引(2頁)の6章と挿圖36圖, 寫真圖版16葉からなり, これに記載された31種の中, 新種が9, 日本新産種が11種である。著者は廣義のイト

グサ屬を採用しているが、これは狭義には10數屬にも分たれ、その種類の總數は200種以上にも達する。本研究に於て種の分類上の特徴として特に重要視されているのは、①毛狀枝とその痕跡細胞の位置及び②枝が毛狀枝と共通の基部細胞を以て分岐するか (Trichoblast-connecting) 然らざるか (Trichoblast-unconnecting) の諸點で、囊果の形状もかなり重視されているが、この他は大體從來の諸學者の意見が踏襲されている。

處が、本邦では著者の所謂 Trichoblast-connecting branches を有する種類が1種もみられず、何れも Trichoblast-unconnecting branches をもつ種類のみである。このため本邦産の7種がこれ等と夫々極めて近似の外國産の種類と上の形質の差異に依つて區別され、各々新種として記載されている。この他下に掲げた著者の檢索表にみられる分類上の形質をあげると ①周心管の數、②皮層の有無 ③枝の始原が中心細胞であるか (内生的)、周心細胞であるか (外生的)、毛狀枝の痕跡細胞 (Scar cells) であるか (cicatrigenous)、及び④小枝の分岐の様相等がある。

尙著者は先年本邦産マキイトグサ (*Polysiphonia hakodatesis* YEDO) に對して、*Enelittosiphonia* なる新屬を提唱し、*Polysiphonia* との區別點として ①体の構造は腹背的である、②長條又は短條は外生的である、③毛狀枝は主として長條に生ず、④雌雄同株である、等の諸點をあげている。(本邦産いわゆるマキイトグサの分類學的位置に就いて。生物、第四卷、第四號、134-139頁。第1-3圖。英文摘要、1949)。

種 の 檢 索 表

- | | |
|---|---|
| 1. 体は4周心管よりなる | 2 |
| 1. 体は4個以上の周心管よりなる | 3 |
| 2. 体は皮層細胞を被らず | 4 |
| 2. 体は一部又は全部皮層細胞を以て被わる | 5 |
| 4. 毛狀枝又はその痕跡細胞は各關節に1個づつ連續して存す | 6 |
| 4. 毛狀枝又はその痕跡細胞は上の如くならず | 7 |
| 6. 毛狀枝はよく發達す | 8 |
| 6. 上の如くならず | 9 |
| 8. 体は高く、太く、粗硬にして、關節は直徑より短かし | |
| <i>P. Kampsaxii</i> BOERGESSEN (タケイトグサ) | |
| 8. 体及び關節は上の如くならず | 10 |
| 10. 小枝は圓錐花序様に分岐し、囊果は球狀 | <i>P. codicicola</i> ZAN. (バライイトグサ) |
| 10. 小枝は上の如くならず、囊果は細目の卵形 | <i>P. obseolata</i> SEGI (ホソイトグサ) |
| 9. 体は短き纖維狀にして極めて柔軟、青白き灰色なり | |
| <i>P. Tokidae</i> SEGI (ウスイトグサ) | |
| 9. 体は上の如くならず | 11 |

11. 体は小なり 12
11. 体は長く伸びたり 13
12. 小枝は繖房状に分岐す *P. pulvinata* J. AGARDH (?) (ヒナイトグサ)
12. 小枝は上の如くならず 14
14. 嚢果は横廣の壺状 *P. subtilissima* MONTAGNE (キヌコマチ)
14. 嚢果は上の如くならず 15
15. 嚢果は卵形 *P. scopulorum* HARVEY (オワリイトグサ)
15. 嚢果は球状 *P. Savatieri* HARIOT (ヒメイトグサ)
13. 体は團塊状をなして極めて廣開せり *P. tongatensis* HARVEY (ベニホツス)
13. 体は上の如くならず 16
16. 体はマツト状をなし、粗雑にして硬く、且短かき關節を有す
..... *P. ferulacea* SUHR (ボウイトグサ)
16. 体は上の如くならず *P. Yendoi* SEGI (エンドウイギス)
5. 太き粗硬なる刺状の小枝を存す *P. spinosa* (AG.) J. AGARDH (トゲイトグサ)
5. 上の如き小枝を存せず 17
17. 皮層細胞は敷石の如く配列す *P. Harlandii* HARVEY (タイロンイトグサ)
17. 皮層細胞は上の如くならず 18
18. 体は傾臥し、微小なり *P. decumbens* SEGI (リボンイトグサ)
18. 体は直上し、大なり 19
19. 糸は纖維状にして非常に長くのび、麥桿色をなす
..... *P. nipponica* SEGI (ニツボンイトグサ)
19. 糸は上の如くならず 20
20. 嚢果は細長き壺状 *P. novae-anglae* TAYLOR (ナガツボイトグサ)
20. 嚢果は上の如くならず 21
21. 体は灌木状なり *P. japonica* HARVEY (キブリイトグサ)
21. 体は上の如くならず *P. akkeshiensis* SEGI (アツケシイトグサ)
7. 枝は外生的なり 22
7. 枝は内生的なり 23
22. 小枝は相接近して繖房状をなす
..... *P. abscissa* HOOKER et HARVEY (サンボウイトグサ)
22. 小枝は上の如くならず *P. urceolata* (DILLWYN) GREV. (シヤウジョウケノリ)
23. 四分孢子托は束状に集りて出ず *P. Morrowii* HARVEY (モロイトグサ)
23. 四分孢子托は上の如くならず *P. senticulosa* HARVEY (ムツイトグサ)
3. 体は皮層細胞を以て被われず 24
3. 体は皮層細胞を以て被わる 25
24. 体は5周心管よりなる 26
24. 体は5個以上の周心管よりなる 27
26. 体は規則正しく又状に分岐し、根様糸は各枝に連絡す
..... *P. forcipata* HARVEY (クロイトグサ)

26. 体及び根様絲上の如くならず …… *P. Richardsonsii* HOOKER (モツレイトグサ)
 27. 体は長く伸び、8—10個の周心管よりなる
 …… *P. tapinocarpa* SURING (ケイトグサ)
 27. 体は短く、12—13個の周心管よりなる
 …… *P. yonakuniensis* SEGI (ヨナクニイトグサ)
 25. 体は5周心管よりなる …… *P. porrecta* SEGI (ナガイトグサ)
 25. 体は5個以上の周心管よりなる …… 28
 28. 小枝は束状—筆頭状をなす
 …… *P. Broadiaei* (DILLWYN) GREVILLE (オオイトグサ)
 28. 小枝は上の如くならず …… 29
 29. 体は8個の周心管よりなる
 …… *P. fruticulosa* (WULFENI) SPRENGEL (ハリマイトグサ)
 29. 体は8個以上の周心管よりなる …… 30
 30. 体は9個の周心管よりなり基部附近のみ皮層をなす
 …… *P. notoensis* SEGI (ノトイトグサ)
 30. 体は11個の周心管よりなり全部皮層を被る
 …… *P. crassa* OKAMURA (フトイトグサ)

(中村義輝—北海道大學理學部海藻研究所)

要 録 野 崎 の 著 至 小 會 叢 會 集 誌 本 日

（以下は非常に薄い印刷の文字で、ほとんど不可読な状態です。内容は、野崎の著書に関する目録や要録のリストと推定されます。）